

(4) 類似事業の有無

- ・類似事業なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	151,880	救命救急センターの設備整備に対する補助金
合計	151,880	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県保健医療計画（第7期）

第3部－第2章－第6節救急医療対策－7今後の施策

『救命救急センターの受け入れ体制強化のため、運営費及び設備整備費に対し助成します。』

(2) 国・他県の状況

- ・救命救急センターの設備整備に対する補助については、（対象となる施設が無い県を除き）ほぼ全ての都道府県で実施されている。

(3) 後年度の財政負担

- ・救命救急センターの安定的な運営の為、要望があれば支援していく必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・三次救急医療体制の整備は、市町村域を超えて、より広域的に取り組むべきものであること、また、保健医療計画上も、救命救急センターの設備整備への支援を明記していることから、事業主体が県であることは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 重症及び複数の診療科にわたる全ての重篤な救急患者を 24 時間体制で受け入れる救命救急センターの整備を進め、県民が等しく医療を受けられるような救急医療体制の整備・充実をめざす。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
				(前々年度末時点)		
救命救急センターの充実度評価 A 割合の維持	(H)	100% (H29)	100% (H30)	83% (R1)	100% (R3)	83%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 救命救急センターを運営する民間病院が行う医療機器整備事業に対して補助を行う。
 （補助事業者）岐阜大学医学部附属病院（人工呼吸器等）
 中濃厚生病院（超音波画像診断装置等）
 高山赤十字病院（高周波手術装置等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 機器の新規導入や、老朽化した機器の更新により、救命救急センターが提供する医療の質が向上する。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	救命救急センターの受入患者数は増加傾向にあり、運営費の補助が救急医療体制の確保につながるため必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	平成31年（令和元年）は救命救急センター運営費を補助した病院は充実度評価A判定以上を受けており、事業効果が表れている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	事業実施主体において競争入札により経費を節減しており、効率化が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 救命救急センターから要望があれば設備整備に対する補助を行い、圏域内で完結可能な救急医療体制を維持する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	